

茨城県弁護士会憲法講演会

主催：茨城県弁護士会

共催：日本弁護士連合会（予定）・関東弁護士会連合会（予定）

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム 報道のあり方と憲法の危機

講師 望月衣塑子さん（東京新聞社会部記者）



●日時 2022年1月22日(土)

13:30～16:00

●場所 茨城県開発公社ビル4階

水戸市笠原町978-25

●Zoom ウェビナー会議によるオンライン開催を併用（入場、視聴無料）

ZoomのURLとQRコード、パスコード、IDは下記の通りです。

<https://zoom.us/j/98282783425?pwd=dGhGVUxpVnRJc2JQcW9rVDNpbEUyQT09>

パスコード: 2gcAxz

ウェビナーID: 982 8278 3425



当日、直接入力の上、ご視聴ください。

事前登録は、不要です。

茨城県弁護士会ホームページからのご案内できます。

問い合わせ先：茨城県弁護士会 茨城県水戸市大町2-2-75

電話 029-221-3501

【企画趣旨】

近時の報道のあり方について、新聞記者として報道の最前線で活躍される望月衣塑子記者に実情、展望を論じていただきます。

また、入管法改正等の人権問題について、取材をもとに日本の現状を報告していた抱きます。

さらに、日本学術会議の任命拒否問題を題材に、軍事研究の拡大、憲法9条改正につながる軍事国家化の動きについて、ご解説いただきます。

【講演内容】

- ① 報道現場のあり方について
- ② 入管法改正問題について
- ③ 日本学術会議任命拒否問題と軍事研究について

【望月衣塑子さん プロフィール】

1975年、東京都生まれ。東京新聞社会部記者。

慶應義塾大学法学部卒業後、東京・中日新聞に入社。

千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材する。2004年、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。東京地裁・高裁での裁判を担当し、その後経済部記者、社会部遊軍記者として、防衛省の武器輸出、軍学共同、をテーマに取材。17年4月以降は、森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続けている。

著書に『武器輸出と日本企業』（角川新書）、『武器輸出大国ニッポンでいいのか』（共著、あけび書房）、「THE 独裁者」（KKベストセラーズ）、「追及力」（光文社）、「権力と新聞の大問題」（集英社）。「なぜ、日本のジャーナリズムは崩壊したのか」（講談社+α新書）、「嫌われるジャーナリスト」（SB新書）、「報道現場」（角川新書）。

2017年に、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。二児の母。2019年度、「税を追う」取材チームでJCJ大賞受賞